

授業科目	教育社会学				単位	2		
履 修	選択	関連資格	栄教一種免		ナンバリング	NT24104J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1			
担当教員	杉谷 修一							
授業概要	この講義では教育社会学の方法を使って、変化の激しい現代社会における教育上の諸課題について分析的に理解する。社会化概念を手がかりとして、子どもの社会的発達が具体的な学校・地域・家族・仲間集団でどのように展開しているのかを学ぶ。また、教育問題や課題およびそれに対する社会の取り組みについても学ぶ。 基礎的概念を用いて現代社会における教育の構造と課題を理解する視点、社会的文化的文脈によって異なる教育のあり方を理解する視点を養う。							
学生が達成すべき行動目標	(1)子どもの社会的発達について理解できる。 (2)社会化およびそれと関連する概念を関連づけながら理解できる。 (3)主な社会化の場と機能、その問題点について理解することができる。 (4)現代日本の主な教育課題を理解することができる。 (5)諸外国の教育事情や改革動向について理解できる。 (6)教師の立場からこれからの学校のあり方について考察することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	80						80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20						20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
(1)子どもの社会的発達の概念を具体例と結びつけて説明できる。 (2)社会化およびそれと関連する概念を関連づけながら説明できる。 (3)主な社会化の場と機能、その問題点について説明できる。 (4)現代日本の主な教育課題を理解し、それに対する取り組みの特徴を説明できる。 (5)諸外国の教育事情や改革動向について日本と比較しながら説明することができる。				(1)子どもの社会的発達の概念の基礎を理解することができる。 (2)社会化およびそれと関連する概念の基礎を理解することができる。 (3)主な社会化の場と機能、その問題点について理解することができる。 (4)現代日本の主な教育課題を理解することができる。 (5)諸外国の教育事情や改革動向について理解できる。 (6)教師の立場からこれからの学校のあり方について考察することができる。				

(6)教師の立場から、社会における教育の意味を理解し、これからの学校のあり方について自分なりの考えを持つことができる。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:教育社会学とは何か 教育社会学の基本的性格と方法論について学び、現代社会の教育問題とどのようにかかわるのかを学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
2	テーマ:社会化論から理解する子どもの社会的発達 社会化の基本的概念を整理し、子どもを社会的発達の側面から理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
3	テーマ:社会化の場とエージェント(1) 家族を中心とした社会化の特徴と現代家族の抱える諸問題について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
4	テーマ:社会化の場とエージェント(2) 仲間集団を中心とした社会化の特徴と現代の友人・仲間関係の抱える諸問題について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
5	テーマ:学校の中の子ども達(1) 現代の学校教育場面における子どものあり方について、教育機能とのかかわりから学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
6	テーマ:学校の中の子ども達(2) 現代の学校教育場面における子どものあり方について、特に生活の変化を中心に学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
7	テーマ:学校にとっての協働・連携(1) 現代の学校に求められる協働と連携のあり方や課題について、特に家庭に焦点をあてて理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
8	テーマ:学校にとっての協働・連携(2) 現代の学校に求められる協働と連携のあり方や課題について、特に地域に焦点をあてて理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
9	テーマ:現代教育における教育課題(1) 貧困の再生産と教育の関連について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
10	テーマ:現代教育における教育課題(2) 家族文化と教育達成の関連について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
11	テーマ:現代における教育課題(3) 社会的引きこもりや不登校の現状を踏まえ、社会性を育てる教育実践について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
12	テーマ:現代における教育課題(4) 社会の特徴と教育のあり方の関連について、諸外国の教育事情・教育改革の動向を通じて学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
13	テーマ:これからの教育課題 情報テクノロジーや人工知能開発の進展がこれからの教育のあり方に与えるインパクトについて学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
14	テーマ:社会化と多様性 日本とは社会・文化・歴史状況が大きく異なる事例を取り上げ、多様性の観点から日本の教育を検討する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
15	テーマ:まとめ これまでの講義内容を振り返り、重要なポイントをまとめる。	講義	授業内容の定着を図る。	60

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	社会学についての基礎的な理解があることが望ましいが、授業に関連する概念等については基礎から説明を行う。			
テキスト	住田正樹・高島秀樹『変動社会と子どもの発達 教育社会学入門』北樹出版 また、レジュメやパワーポイント資料・映像資料なども使用する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	苅谷剛彦『学校って何だろう 教育の社会学入門』ちくま文庫 広田照幸『日本人のしつけは衰退したか』講談社現代新書 その他は授業中に指示する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	テキストの内容を具体的にイメージしながら読むと理解が深まる。また、自分や周囲の教育経験・家族経験などを手がかりに社会化を考えて欲しい。また、時代・地域などが異なる場面での社会化を取り上げるので、現代の社会化状況と比較しながら考察することが必要となる。 テキスト内容を理解／記憶するだけでなく、レジュメやスライド、映像教材など様々な教材を通じて授業を進める。テーマに沿ってそれらの内容を結びつけながら理解できるよう授業に集中して欲しい。			
達成度評価に関するコメント／課題に対するフィードバックの方法	基礎的用語の暗記だけでなく、概念の特徴や使い方など、より応用的・実践的な理解までバランスよく出題する。試験内容は授業中に指示する。 テスト結果はクラスルームを通じ、全体的なコメント及び評価点分布図を提示する。			

